

常磐線内郷駅改築工事について

この度、常磐線内郷駅において駅舎の老朽化により改築工事を行うこととなりましたので、お知らせ致します。

1 設計コンセプト

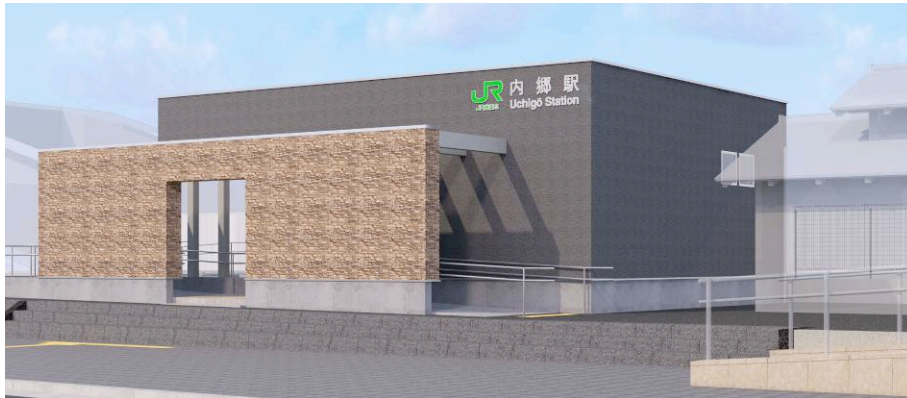
遺構こみち～地域の歴史と遺構を想う駅～

内郷地区には国宝、白水阿弥陀堂の他、常磐炭鉱の産業遺構ともいべき選炭場や貯炭場などの建物が多く残されています。常磐炭鉱の産業遺構を連想させる石造りのような壁を広場側に配置し、壁と駅舎の間に「こみち」のような空間をつくります。「こみち」を通して、訪れる人が地域の歴史と遺構に想いをめぐらせ、駅が地域の一部として親しまれる駅舎を目指します。

2 施設の概要

構造 : 木造平家建
延床面積 : 68.7 m² (建築面積 : 84.0 m²)
待合スペース : 23.4 m²

3 パース



完成イメージ

4 施工期間

2014年11月上旬 着工予定～2015年2月下旬 一部供用開始予定
3月上旬 既存駅舎取り壊し完了
3月下旬 全体供用開始

5 事業主

東日本旅客鉄道(株)水戸支社

6 設計・施工監理

東日本旅客鉄道(株)水戸支社 水戸建築技術センター

※工事期間中、お客さまにご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。